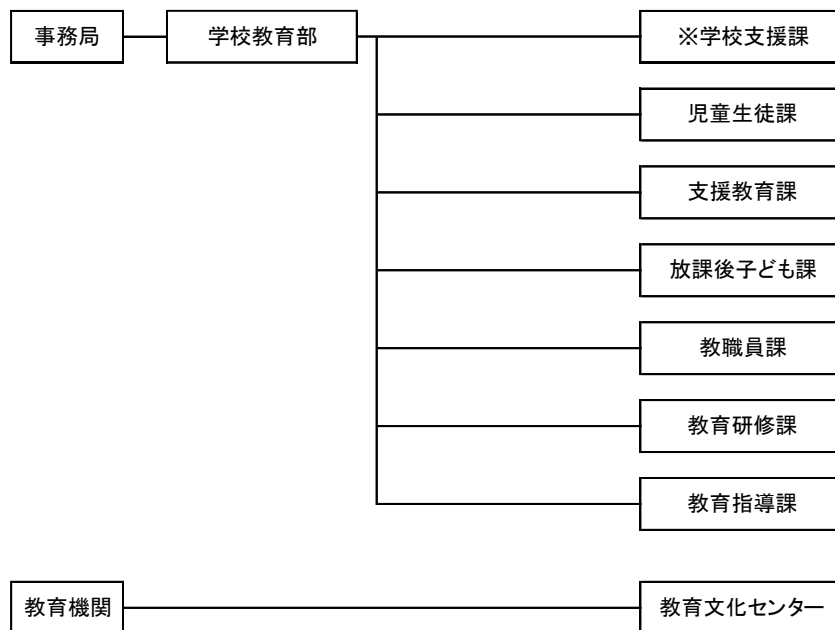


学校教育部 所管事務の概要



学校支援課

- (1) 小学校及び中学校への就学に関すること。
- (2) 教科書の給付に関すること。
- (3) 奨学金に関すること。
- (4) 就学援助に関すること。
- (5) 児童及び生徒の保健に関すること。
- (6) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- (7) 枚方市PTA協議会との連絡調整に関すること。
- (8) 学校管理下における災害共済給付制度に関すること。

児童生徒課

- (1) 教育相談に関すること。
- (2) いじめ対策、不登校対策その他の生徒指導に関すること。
- (3) 学校いじめ対策審議会及び学校いじめ重大事態調査委員会に関すること。

支援教育課

- (1) 支援教育に関すること。
- (2) 学校教育における人権教育に関すること。
- (3) 防災、防犯等の安全教育に関すること。
- (4) 安全指導に関すること。
- (5) 学校安全に係る家庭、地域、学校等との連携に関すること。
- (6) 支援教育充実審議会及び学校事故等調査委員会に関すること。

放課後子ども課

- (1) 留守家庭児童会室に関すること。
- (2) 放課後等における児童の育成支援に関すること。
- (3) 児童の放課後対策審議会及び総合型放課後事業委託事業者選定審査会に関すること。

教職員課

- (1) 教職員の任免、分限、懲戒、賞罰、服務等に関すること。
- (2) 教職員の給与、旅費等に関すること。
- (3) 教職員の福利厚生及び健康管理に関すること。
- (4) 教職員の退職料及び遺族扶助料に関すること。
- (5) 教職員の公務災害補償に関すること。
- (6) 教職員の定数管理に関すること。
- (7) 学級編制に関すること。
- (8) 教育に係る調査及び統計に関すること。

(9) 教職員に係る褒章候補者の推薦に関すること。

教育研修課

- (1) 教職員の研修に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
- (2) 学校における情報化の推進に関すること。
- (3) 教育に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (4) 教育関係資料の収集、整備及び保管に関すること。
- (5) 理科教育振興法（昭和28年法律第186号）による教材に関すること。

教育指導課

- (1) 学校及び幼稚園の教育課程に関すること。
- (2) 教科書、教材等に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
- (3) 教職員の研修（学校園内研修、中央研修及び民間派遣研修に限る。）に関すること。
- (4) 学校運営協議会及び枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に関すること。

教育文化センター

- (1) 教育に関する専門的、技術的及び実践的な調査研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 次に掲げる事業を行うための場所の提供に関すること。
 - イ 教育相談事業
 - ロ 不登校の児童又は生徒の社会的自立に資するための相談及び指導を行う事業
 - ハ 音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある幼児、児童及び生徒についてその機能の維持向上を図るための言語訓練その他の訓練を行う事業

令和7年度主要施策の成果と課題

【学校支援課】

1. 就学援助事業について

経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、保護者の負担軽減を図るため、就学援助費を支給するとともに、小・中学校入学前の3月には、入学準備金として新入学児童生徒学用品費等を支給した。

2. 健康診断について

学校園における定期健康診断において、尿検査、結核検診、心臓検診を行うとともに、モアレトポグラフィ法での脊柱検診を実施した。

【児童生徒課】

1. 生徒指導の充実について

① 生徒指導充実事業について

小学校では生徒指導主担者、中学校では生徒指導主事が中心となって生徒指導体制を構築し対応を進めた。暴力行為の発生件数は、令和6年度と比較して、小学校は増加、中学校は微減であった。専門家の意見も取り入れながら学校全体で継続的に児童・生徒のアセスメントを深め、支援に繋げた。いじめについては、小さな事案も見逃さず、初動から丁寧に対応する視点で対応を進めており、認知件数は令和6年度と比較して、小学校では182件減少、中学校では57件増加し、小学校では2,917件、中学校では963件となった。

学校がいじめの発見・通報を受けた場合に、学校内のいじめ対策を実効的に行う「いじめ防止対策委員会」に対し効率的な運営ができるよう、組織的に早期解決をめざす体制を整備した。また、いじめを市全体の問題として捉え、市長部局と情報共有し、いじめ対策について連携等を行う会議を月1回以上開催するなど、双方のいじめ対策グループで連携し、いじめ対策の総合的な推進を図った。更に、いじめの防止等の対策を実効的に行うため調査審議する「枚方市学校いじめ対策審議会」を10回開催した。

今後も、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家との連携も含めた組織的な生徒指導体制を強化するため、継続して取り組んでいく。

いじめや不登校をはじめ、さまざまな困りごとを一人で抱え込むことがないよう、1人1台端末を使用して、心のサインを可視化するシステムで児童・生徒の気持ちを把握し、児童・生徒の理解と支援を進める取組を実施した。

各校の情報を共有する場として定例で開催している「枚方市小・中学生指導連絡会」において、生徒指導の事例の検証や他機関連携についての講義・演習などを行った。

② 教育相談実施事業について

総合相談窓口「子どもの笑顔を守るコール」の電話番号を記したチラシを市立全学校園に1人1台端末等の電子媒体を通して配付し、児童・生徒・保護者に周知するとともに、市ホームページにも掲載し、市民にも周知した。相談件数は、令和6年度と比較すると7%減少した。相談者了解のもと、学校へ情報提供し、解決に向けた取組を学校と連携して行った。また、全小学校には「心の教室相談員」、全小中学校に「スクールカウンセラー」を配置し、児童・生徒・保護者及び教職員からの相談に対し、臨床心理士等の専門知識を活かした助言等を行った。

③ 不登校等対策事業について

不登校児童・生徒数は、令和6年度と比較して小学校では72人、中学校では19人減少し、小学校では380人、中学校では656人となった。不登校の主な要因としては、不安や無気力が挙げられるが、その要因は個人によりそれぞれ異なっている。令和7年度より全小中学校に校内教育支援ルーム指導員を配置し、校内教育支援ルームを活用して教育相談や学習支援を行うとともに、不登校児童・生徒及び不登校の兆候が見える児童・生徒の支援を行った。校内教育支援ルームの充実として、希望があった学校に対して備品を購入し環境整備を行った。枚方市教育支援センター「ルポ」においては、不登校状態にある98人の登録児童・生徒に対して学習活動やグループ活動を通じた社会的な自立のための支援と指導を行うとともに、保護者の気持ちにも寄り添った対応を行った。また、学校にも教育支援センター「ルポ」にも通うことが難しい児童・生徒に対し、メタバース空間での不登校支援を行った。民間施設との連携を踏まえた「子どもの居場所サポートガイド～不登校支援ガイド～」 「不登校児童・生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」を発信し、多様な不登校支援について周知した。

【支援教育課】

1. 人権・平和教育推進事業について

人権教育推進研究事業及び多文化共生教育研究事業において、枚方市人権教育研修会、北河内地区人権教育研修会、大阪府人権教育研修会等の研究会・交流会に教員及び指導主事が参加し、研修内容を校内等で周知することで、幼児・児童・生徒の人権教育、在日外国人教育、国際理解教育等の取り組みを充実させた。

また、人権政策課と連携して令和8年2月17日にひらかた平和フォーラムを実施した。

2. 支援教育の充実について

① 支援教育学校園支援事業について

発達障害等があり教育的支援を必要とする児童・生徒に対する個に応じた指導の一層の充実を図るために、特別支援教育士・臨床心理士等の専門家を小・中学校4校にそれぞれ年間5回派遣し、児童・生徒への指導や学校内の支援教育体制について教職員に直接指導・助言を行った。

② 支援教育コーディネーター支援充実事業について

全小・中学校に非常勤講師を配置して、支援教育コーディネーターの支援を要する児童・生徒に対する支援のための活動時間を確保し、校内における支援体制の充実を図った。

また、支援教育コーディネーターを対象に、専門家や有識者を招聘した研修を教育研修課とともに年間2回行い、資質の向上に取り組んだ。

③ 学びの場の充実について

通級指導教室については、全小中学校への設置をめざしており、令和7年度は全中学校（19校）、小学校においては31校設置した。

④ 支援教育のさらなる推進について

平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、本人や保護者の意向を受け止め、合理的配慮について適切に対応しながら支援教育に取り組んだ。会計年度任用職員（臨時学校看護師・肢体不自由児助員・支援教育支援・介助員）を学校に配置した。また、全小中学校へ導入している教育支援ソフトを活用した個別的教育支援計画により、児童・生徒への適切なアセスメントを踏まえた指導を行うとともに、必要とする学校に階段昇降車を配置するなど、支援教育に係る環境の整備等を行った。

⑤ 枚方市支援教育充実審議会について

支援の必要な児童・生徒の将来の自立、就労をはじめとする社会参加をめざし、その可能性を十分に引き出すとともに、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、すべての児童・生徒がともに育ち合うよう、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実に努めている。令和5年度より本審議会を開催し、これまで本市が進めてきた支援教育について現状や課題等を総括の上、支援教育の質の向上方策を含めた今後の枚方市の支援教育の在り方について議論いただいております。3年間で合計25回開催された審議会での議論のすえ、令和7年10月に今後の本市の支援教育の充実に向けた答申を受け、パブリックコメントを経て、令和8年3月に「枚方市支援教育サポートブック」を策定した。

3. 安全・防災教育について

文部科学省作成の「学校の危機管理マニュアル作成の手引」を活用し、学校園における防災マニュアルの見直しを行い、学校の状況に応じた「火災」「風水害」「地震」「不審者」等を想定した避難訓練を実施するなど、防災教育の充実を図った。

全学校園において活用している情報配信システムで不審者目撃や緊急事案等の情報を提供し、児童・生徒の登下校の安全確保を図った。

【放課後子ども課】

1. 子どもの居場所づくりの推進と子育てしやすい環境の整備の取り組みについて

「留守家庭児童会室」と「オープンスクエア」を一体的に運営し、就学後も保護者が安心して就労できる環境と、子どもたちが学校で楽しく安全に過ごせる環境の整備を目的とした総合型放課後事業を全校（直営 22 校、委託 22 校）で実施した。

また、土曜日の総合型放課後事業の実施時間の延長を求める声が寄せられていることから、留守家庭児童会室を利用者の希望に応じた土曜日の開室の試行実施を行った。引き続き全室で利用者の希望に応じた開室を試行し、利用状況や運営体制の検証結果を踏まえた制度設計を行う。

三季休業期の昼食サービスについては、令和 6 年度の試行実施の取り組みを踏まえ、実施方法や事業継続可能性の検証のため夏季・冬季・春季の全長期休業期に全校で試行実施を行った。今後はこの仕組みを活用して欠食リスクを抱える児童に対して昼食を提供し、安心できる居場所の中で児童の様子を見守り、必要な支援につなげる。

留守家庭児童会室の施設環境の老朽化が課題となっているため、留守家庭児童会室の施設の老朽化や利用状況等を踏まえ、「留守家庭児童会室個別施設計画」を策定した。今後はこの計画に基づき、より早期に建替えや増築が必要な施設について、整備手法等の可能性調査を実施する。

2. 土曜日等における児童健全育成事業（枚方子どもいきいき広場事業）について

これからの時代を担う子どもたちの「生きる力」を育むことを目的とし、土曜日等の学校休業日に市立全 44 小学校で、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施した。事業の実施団体である地域団体や NPO 法人等に対し、補助金の交付や情報交換等を行った。今後は、後継者の育成や担い手不足、提供するプログラムの固定化などの課題に対し、地域の実情に応じて支援を行っていく。

【教職員課】

1. 教職員人事について

学校運営状況を把握するため、校長とのきめ細かいヒアリングなどに取り組むとともに、各学校の課題克服や新規採用後 4～6 年目の教職員の育成、次期管理職候補の育成を念頭においた人事配置を行った。

また、令和 7 年 4 月 1 日に、市費負担任期付教員 61 人（小学校 44 人・中学校 17 人）の新規採用や他市町村との異動を含む 500 人規模の定期人事異動を行った。

2. 市独自の少人数学級編制の実施と学力向上及び生徒指導充実に向けた取組について

小学校全学年において、支援学級在籍児童を含めて 35 人以下とする本市独自の少人数学級編制を実施するため、学級数が増える小学校に市費負担任期付教員を配置した。

また、中学校での学力向上及び生徒指導体制を充実させ、安全・安心な教育環境の充実に図り、子どもたちの豊かな人格形成を行うため、市費負担任期付教員等を配置した。

3. 労働安全衛生体制の整備について

枚方市立小・中学校に勤務する教職員の労働安全衛生及び健康を確保するため、枚方市立学校園教職員安全衛生管理規程に基づき、常時 50 人以上の教職員が勤務する杉中学校及び菅原東小学校で衛生委員会などを開催した。また、小中規模校（教職員 49 名以下）での労働安全衛生活動の推進、全体交流・研修会等での好事例の発信等を行い、労働安全衛生に関する意識向上を図った。

4. 教職員の服務規律の確保について

大阪府教育委員会作成の「不祥事防止ガイドブック」及び「不祥事防止に向けたワークシート集」を活用し、各学校でハラスメントや体罰防止等についての研修を実施した。また、初任者や 10 年目の教職員等へ向けて服務研修も実施した。今後も引き続き、研修の実施やあらゆる機会を捉えて注意喚起を行うなど、服務規律の確保に取り組み、不祥事防止の徹底を図る。

5. 学校事務共同実施の推進について

ブロック・グループ単位での事務の共同実施に取り組むことにより、各校への事務支援や情報共有が図られ、事務処理の標準化や効率化に向けた取組の基盤整備が進みつつある。共同実施の取組については一定の進捗が見られる一方で、さらなる効率化や機能強化に向けては、共同学校事務室の整備を含めた体制の強化が必要である。

6. 学校の働き方改革の推進について

教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整えるため、教員業務支援員を全ての小・中学校に配置した。また、「笑顔の学校プロジェクト」においては、「業務改善」「労働安全衛生」「ワークエンゲージメント」の 3 つの主軸のもと、各校が自校の課題に応じた取組を進め、その成果の共有を図ることで、市内全体への波及につなげた。さらに、産業保健スタッフの体制強化により、メンタルヘルスへの支援を進めた。

【教育研修課】

1. 教職員の指導力の向上について

① 枚方市教職員育成事業について

令和 7 年度は、令和 6 年度に引き続き、『学び続ける教職員』を育成し、枚方子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、①「研修履歴を活用したキャリアステージ（育成指標）に応じて学び続ける教職員の育成」、②「『Hirakata 授業スタンダード』に記載されている、授業計画時に大切にしたい 5 つの C の視点に基づいた授業改善」、③「人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援の充実」、④「課題解決型学習（PBL: Project Based Learning）による授業改善」の 4 つを重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修をはじめとする教員の経験・職務に応じた研修（基本研修）、教育課題や教科等の専門性を高める研修（専門研修）、専門的な職務を担う教職員の知識・技能の習得と情報活用能力の向上を図る研修（職務研修）、複数回連続で受講することで教職員としての専門性をより高める研修（パッケージ講座）を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図った。

教職員研修講座については、年 195 回の研修を実施した。また、経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等として、指導主事・教育推進プランナー等により年 1,317 回学校訪問を実施した。

② 授業の達人養成講座事業について

令和 7 年度は、2 年プランの 2 年目として、外部講師による研修を含めた講座を年 12 回実施した。講座では、「教育のスペシャリスト」を講師に招聘し、学習指導要領の方向性や主体的・対話的で深い学びの実現などについて講義・演習を実施した。また、研究授業の実施や参観を通して、実践的指導力の向上を図り、9 名の「授業マイスター」及び 1 名の「授業の達人」認定者を輩出した。

③ 校内研修（研究授業）等への指導・支援について

経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等として、教育推進プランナー等により年 698 回学校訪問を実施した。

2. 学校園運営体制の確立と開かれた学校園運営の推進について

校園長及び教頭を対象に適正な学校園運営の確立に向けた研修を行った。また、市立小中学校の首席等のリーダーを対象に研修を行い、職務と役割について理解を深めた。

校長・教頭研修では、学校組織マネジメントや授業力の向上、子どもが主役の学校づくりについて等、実践につながる研修を年 10 回実施した。

市立小中学校の首席等を対象としたリーダー研修や職務研修では、学校経営における首席等の役割について理解を深めるとともに、首席等としての資質を高めるための研修を年 44 回実施した。

3. 人権を尊重した教育の推進について

人権尊重の精神に則った教育の推進に向けて、学校における人権課題や幼児・児童・生徒の人権についての理解を深める研修を実施した。初任者研修をはじめ、管理職研修やリーダー研修において、「人権尊重に基づいた子ども理解」「同和問題について」「人権教育の推進と様々な人権課題」「子どもの人権感覚」「すべての子どものための教育」「人権教育としての性教育」「人権力を育む学校づくり」「インターネットと人権侵害」「国籍や人種による差別」にかかる研修を実施し、延べ 526 人が受講した。

4. 1 人 1 台端末の更新について

国の GIGA スクール構想第 2 期に伴い、iPad 第 10 世代（セルラーモデル）・キーボードケース・タッチペン等を一括で調達した。令和 7 年 5 月から 12 月にかけて児童・生徒（約 28,000 人）及び教職員の 1 人 1 台端末の更新を行った。また、第 1 期の旧端末の返却を行った。

5. GIGA フェスについて

未来を生きる子どもたちが未来社会への夢や可能性を感じる機会を提供するとともに、枚方市内の小中学生が探究的に課題解決した取り組みの発表を通して、これからの子どもたちにとって必要な資質・能力について考えるためのイベントとして「GIGA フェス」を実施している。令和 7 年度は「GIGA フェス 2025」と題し、「体験型イベント」と「発表型イベント」を実施し、約 1,000 人が参加した。

6. 「課題解決型学習 (Project Based Learning [PBL])」の推進について

課題解決型学習 (Project Based Learning [PBL]) についての教職員の理解を深め、また実践を支援するための研修 (PBL チャレンジネットワーク (通称: P チャレ)) として、「P チャレ基礎講座」「P チャレ実践講座」を実施し、延べ 378 人が受講した。

7. 情報教育の推進について

「枚方版 ICT 教育モデル」に基づき、1 人 1 台端末等の ICT を効果的に活用した個別最適・協働的な学びの実現に向けた授業改善を推進した。また、ICT 教育の実践をまとめたポータルサイト「GiGA スク!ひらかた」と教職員が情報共有をするためのポータルサイト「まな ViVA! ひらかた」を活用し、積極的な情報共有を行っている。「GiGA スク!ひらかた」では、令和 8 年 3 月時点で約 39 万のアクセスがあった。「まな ViVA! ひらかた」では、研修動画を掲載しており、本市教職員であれば何度でも学ぶことができる。

8. 学校ブログの活用について

学校が授業や様々な教育活動の様子を積極的に発信できる学校ブログの運用が定着し、令和7年度は全小中学校で合計約412万回の保護者や地域の方の閲覧があった。学校ブログを活用することで、学校の日々の様子や教育活動の様子などの情報をよりタイムリーで分かりやすく発信できるようになった。今後も保護者や地域に向けて、今まで以上にタイムリーでわかりやすく工夫した情報の発信を図っていく。

9. ICT支援員の各学校配置について

ICTに関連した業務について、児童・生徒及び教職員を支援し、GIGAスクール構想における学校のICT化を円滑に進めることを目的に、市立小中学校に対して専門知識を持ったICT支援員を13名配置した。1校あたり年36回訪問し、ICT機器を活用した授業づくり支援や教職員への研修支援、ICT機器等の障害対応・管理等の支援を行った。63校合計で年2,268回の訪問支援を行い、教職員対象のアンケート調査でも98%がICT支援員の業務内容に対して「とても満足」「満足」と回答した。

10. 採点支援システムの導入について

中学校に採点支援システムを令和4年7月に導入し、本システムの利用を推進してきた。令和8年3月に実施したアンケートでは、中学校教員の約95%が採点支援システムを利用して、採点・集計・転記の負担が軽減されたと回答した。このシステムが持つ分析機能を活用することで生徒の弱点を把握し個別最適な支援につなげるとともに、教員の採点から成績処理の負担を軽減し児童・生徒と向き合う時間の確保を図っていく。

11. 学校における生成AIの活用について

令和7年度文部科学省事業である生成AIパイロット校指定校に市立中学校1校が採択され、生徒の学習場面における生成AI利用について研究を行った。今後も文部科学省が示している「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」に則り授業や校務といった様々な場面での生成AIの活用について取り組みを行っていく。

【教育指導課】

1. 学力向上の取り組みの推進について

全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置するとともに、学力向上委員会や教科会、学年会など校内組織体制の充実を図りながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進した。また、全国学力・学習状況調査については、各校において当該調査問題を分析し、その結果を踏まえて授業の教材や家庭学習等を工夫するなど、児童・生徒の学力向上に向けて効果的に活用した。

2. 英語教育の推進について

児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、全中学校に各1人の外国人英語教育指導助手（NET）及び全小学校に英語専科教員または日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語の4技能である「聞く」「読む」「話す」「書く」力をバランスよく育む授業を実践した。さらに、小学校専属NETの小学校定期巡回やタブレット端末を活用した海外とのオンライン交流授業などを実施し、児童・生徒の英語学習への意欲を高める取り組み等、小・中学校の英語教育の推進を図った。

また、全市立中学校第2・第3学年の全生徒を対象に4技能の到達度を測ることができる学習アプリを導入し、生徒の英語力向上を図った。

関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため、MuChat Hirakata（旧枚方英語村）を実施した。

3. 体力向上の取り組みの推進について

全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、各校の分析結果を踏まえて体力向上プランの作成を行った。また、体力向上研究指定校（開成小学校）において、大阪体育大学と連携して体力向上に向けた研究・実践を行い、2学期に公開授業や研修会を開き、成果を市内小学校へ共有した。

枚方市小学生スポーツCarnivalを9月に開催し、児童が様々な競技を体験することを通してスポーツをする喜びを味わえたり、レクリエーションスポーツなどを通して交流を図る機会を設けた。

4. 読書活動の推進について

児童・生徒の読書活動を推進するとともに、授業における課題解決能力や探究的な学習に取り組む力の育成、さらには児童期における読書習慣の定着を図るため、学校司書の配置を中学校中心から小学校中心へと移行した。また、児童・生徒の読書意欲の向上や読書量の増加に向けて、学校司書及び司書教諭を対象に、実践事例を多く取り入れた研修を実施するとともに、ポータルサイトの活用を促進するなど、読書活動の充実を図った。

5. 学力向上推進事業（放課後自習教室事業）について

児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用し、授業・課外時間外・家庭における学習機会の充実を図り、学力向上の取り組みを推進した。また、参加生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着等の学習支援として、放課後等において民間事業者への委託による学習教室を開催した。

6. 学校園活性化事業について

全学校園において、教育課題の解決や教職員の資質向上に向けて、教育活動の活性化、公開授業の実施、校内・園内研修の充実等の取り組みを行った。また、菊のひらかた・菊咲かそう体験事業として、全学校園が菊の栽培を実施し、一定数の学校園が菊花展に出展した。また、教育委員会主催の小学校合同音楽会を枚方市総合文化芸術センターにおいて開催した。

7. 中学校部活動指導協力者派遣事業について

中学校部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員自身の授業研究や生徒指導に係る時間等の確保に向けて、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者の派遣を行った。

8. 学習指導要領に基づく教育課程の編成と取り組みについて

各小・中学校において策定している学習指導要領に基づいた教育課程の編成や授業時数等を定めた学習指導計画について、進捗状況等を把握し、課題等について指導、助言を行った。また、ICT 機器を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善の推進及びカリキュラム・マネジメントの取り組みの推進について、学校訪問等を通して指導、助言を行った。

9. コミュニティ・スクール推進事業について

市立全 44 小学校が、地域住民等と協働して学校運営に取り組むコミュニティ・スクール（学校運営協議会設置校）となっている。令和 8 年 2 月にコミュニティ・スクール研修会を開催し、コミュニティ・スクールについての理解を深めることで、地域とともにある学校づくりを推進した。

10. 小学校社会科デジタル副読本「わたしたちのまち 枚方」の活用について

児童一人 1 台タブレット端末の配備を踏まえて、ICT 機器特有の機能（豊富な資料閲覧、360 度画像、動画、地図機能等）を活用することで、広角的な視野・視点から物事を捉えることが期待できることから、小学 3・4 年生を対象にした小学校社会科デジタル副読本「わたしたちのまち 枚方」のデータベース更新等を行った。

11. 中学校部活動地域連携事業について

スポーツ庁・文化庁が示す中学校部活動の段階的な地域移行を踏まえて、今後の中学校部活動の在り方について、有識者、保護者、小・中学校長、関係団体代表で構成する枚方市中学校部活動の在り方懇話会、および市内委員会における協議・検討を重ねた。令和 7 年度の試行実施として、統括団体（委託事業者）による部活動運営、部活動指導員（会計年度任用職員）の配置及び市内 3 大学との連携による部活動受入れ、市認定クラブの認定など、4 つのモデルについて取り組んだ。

12. 課題解決型学習（Project Based Learning (PBL)）について

実生活・実社会のリアルな課題を探究的に解決する学びの推進や外部の知見を活用した推進校の指定及び学習会を開催した。推進校（小 1 校・中 1 校）では、全小・中学校を対象とした公開授業を開催し、取り組みを市内全小・中学校に広げた。令和 6 年度に作成した PBL 推進のための資料「ヒラカタノタカラプロジェクト」を参考に、全小・中学校において PBL を推進した。また、PBL を通して、一人一台のタブレット端末を活用し、相手の行動変容を促すプレゼン能力の向上等にも取り組んだ。

令和 7 年度事務概要

【学校支援課】

(1) 要保護及び準要保護児童・生徒援助費、中学校夜間学級就学援助

① 就学援助の状況

(単位：人、%)

区 分	児童・生徒数 (令和 7 年 5 月 1 日現在) A	申請者数 B	認定者数 C	否認定者数 D	申請率 B/A	認定率 C/A	否認定率 D/A
小学校	18,596	3,686	3,048	638	19.8	16.4	3.4
中学校	9,367	2,165	1,789	376	23.1	19.1	4.0
合 計	27,963	5,851	4,837	1,014	20.9	17.3	3.6

② 就学援助費目別支給状況

(単位：人、円)

区 分	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
学 用 品 費 等	3,048	45,406,727	1,789	46,990,065	4,837	92,396,792
新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 費	76	4,336,560	36	2,268,000	112	6,604,560
小 学 校 入 学 準 備 金	364	20,769,840			364	20,769,840
小 学 校 入 学 準 備 金 (差額分)	-	-			-	-
中 学 校 入 学 準 備 金	611	38,493,000			611	38,493,000
中 学 校 入 学 準 備 金 (差額分)			-	-	-	-
修 学 旅 行 費	630	20,956,055	595	29,156,857	1,225	50,112,912
学 校 給 食 費	3,048	125,232,800	911	48,151,810	3,959	173,384,610
校 外 活 動 費 (宿泊分)	506	3,866,553	45	358,182	551	4,224,735
実 験 実 習 見 学 費	3,048	1,219,200	1,789	805,050	4,837	2,024,250
小 計		260,280,735		127,729,964		388,010,699
医 療 費	277	1,692,834	146	753,958	423	2,446,792
合 計		261,973,569		128,483,922		390,457,491

〔注〕小・中学校入学準備金（差額分）は、令和7年度に新入学児童生徒学用品費に増額改定がなかったため、差額が発生していない。

③ 中学校夜間学級就学援助費目別支給状況

(単位：人、円)

	人 員	金 額
学 用 品 費 等	7	111,344
修 学 旅 行 費		
校 外 活 動 費 (宿泊を伴わない)	2	3,290
通 学 費	7	239,870
合 計		354,504

〔注〕令和7年度は修学旅行の実施なし。

(2) 支援学級等就学奨励費

① 就学奨励費の状況

(単位：人、%)

区 分	児童・生徒数 (令和7年5月1日現在) A	申請者数 B	認定者数 C	不認定者数 D	申請率 B/A	認定率 C/A	不認定率 D/A
小学校	2,000	1,435 (117)	1,433 (117)	2	71.8	71.7	0.1
中学校	611	459 (54)	459 (54)	-	75.1	75.1	-
合 計	2,611	1,894 (171)	1,892 (171)	2	72.5	72.4	0.1

〔注〕（ ）内は通学費のみの申請で外数。認定者数は職場実習交通費、交流及び共同学習交通費等のみの認定者を含んだ数。

② 費目別支給状況

(単位：人、円)

区 分	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
学 用 品 費	896	5,912,758	268	3,335,828	1,164	9,248,586
新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 費	126	3,594,780	108	3,402,000	234	6,996,780
修 学 旅 行 費	123	2,022,242	65	1,584,186	188	3,606,428
学 校 給 食 費	896	18,665,600	145	3,553,040	1,041	22,218,640
通 学 費	6	28,820	1	6,500	7	35,320
校外活動費(宿泊分)	157	1,177,501	6	60,378	163	1,237,879
職 場 実 習 交 通 費			22	21,710	22	21,710
交 流 学 習 交 通 費	-	-	-	-	-	-
計		31,401,701		11,963,642		43,365,343

(3) 枚方市奨学金の支給状況

(単位：人、円)

令和7年度申請者数	154	給付総人数		243
令和7年度認定者数	99	内 訳 (一)	公立在学生	147
内 訳 (一)	公立在学生		私立在学生	96
内 訳 (一)	私立在学生	内 訳 (二)	新規給付者	99
内 訳 (二)	1 年 生		継続給付者	144
内 訳 (二)	1 年生以外	給付総額		15,426,000

[注] 給付額 公立(月額)4,500円・私立(月額)6,500円。

(4) 枚方市交通災害遺児奨学金

(単位：円、人)

給 付 額 月 額	給 付 人 員	給 付 総 額
5,000	5	300,000

(5) 児童・生徒入学者数

① 小学校

(単位：人)

学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数
枚 方	90	明 倫	48	交 北	53	田 口 山	57	山 田 東	31
枚方第二	93	殿山第一	44	香 陽	64	西 牧 野	42	藤 阪	63
蹠 陀	41	殿山第二	66	招 提	46	川 越	25	平 野	89
香 里	121	樟 葉	102	中 宮	76	蹠 陀 東	51	長 尾	33
開 成	58	津 田	68	小 倉	64	桜 丘 北	38	東 香 里	57
五 常	70	菅 原	67	樟 葉 南	67	津 田 南	69	伊 加 賀	95
春 日	63	氷 室	28	磯 島	58	樟 葉 北	67	西 長 尾	66
桜 丘	75	山 之 上	109	蹠 陀 西	75	船 橋	62	禁 野	78
山 田	33	牧 野	98	樟 葉 西	49	菅 原 東	127	計	2,876

[注] 令和7年5月1日現在。

② 中学校

(単位：人)

学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数
第 一	181	津 田	191	楠 葉	166	杉	250	蹠 陀	193
第 二	171	枚 方	178	楠 葉 西	113	山 田	91	招 提 北	91
第 三	193	中 宮	133	東 香 里	226	渚 西	90	長 尾 西	120
第 四	229	招 提	130	長 尾	134	桜 丘	124	計	3,004

[注] 令和7年5月1日現在。

(6) 小学校児童数及び学級数(学年別 令和7年5月1日現在)

(単位: クラス、人)

小 学 校	第1学年							第2学年							第3学年						
	学級数・児童数							学級数・児童数							学級数・児童数						
	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	支援数			ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計
					男 子	女 子	合 計														
枚 方	3	46	44	90	8	2	10	3	36	54	90	5	1	6	3	46	54	100	10	3	13
枚方第二	3	53	40	93	4	1	5	3	39	43	82	2	1	3	3	45	49	94	4	5	9
蹉 跎	2	22	19	41	6	2	8	2	45	25	70	6	1	7	2	27	23	50	4	2	6
香 里	4	51	70	121	6	2	8	4	70	54	124	7	2	9	3	56	52	108	7	2	9
開 成	2	29	29	58	1	-	1	2	26	32	58	4	1	5	2	29	31	60	5	5	10
五 常	2	39	31	70	3	-	3	3	47	45	92	6	1	7	3	49	39	88	8	2	10
春 日	2	29	34	63	4	2	6	2	29	33	62	7	3	10	3	29	46	75	2	4	6
桜 丘	3	36	39	75	3	1	4	3	52	40	92	7	2	9	2	27	35	62	4	2	6
山 田	1	17	16	33	6	-	6	1	10	13	23	1	-	1	1	8	20	28	2	2	4
明 倫	2	23	25	48	2	1	3	2	22	17	39	3	2	5	2	29	22	51	5	-	5
殿山第一	2	20	24	44	3	-	3	2	21	32	53	2	1	3	2	23	27	50	4	4	8
殿山第二	2	33	33	66	2	2	4	3	28	46	74	3	3	6	3	42	35	77	5	2	7
樟 葉	3	60	42	102	4	2	6	3	43	53	96	10	1	11	4	52	62	114	11	5	16
津 田	2	26	42	68	3	5	8	2	33	33	66	8	1	9	2	33	34	67	5	1	6
菅 原	2	37	30	67	4	1	5	3	39	48	87	4	3	7	2	41	30	71	8	-	8
氷 室	1	17	11	28	-	-	-	2	22	22	44	4	1	5	2	20	18	38	-	-	-
山 之 上	4	62	47	109	5	2	7	3	42	63	105	7	5	12	3	47	58	105	8	3	11
牧 野	3	58	40	98	8	2	10	3	52	56	108	16	9	25	3	50	47	97	12	-	12
交 北	2	30	23	53	5	-	5	2	27	37	64	5	1	6	2	38	29	67	7	-	7
香 陽	2	36	28	64	4	1	5	2	24	36	60	8	2	10	2	30	25	55	6	1	7
招 提	2	26	20	46	5	2	7	2	33	35	68	4	4	8	2	36	27	63	2	2	4
中 宮	3	36	40	76	4	2	6	2	28	38	66	4	3	7	3	32	50	82	4	2	6
小 倉	2	29	35	64	2	1	3	3	40	33	73	5	5	10	2	30	20	50	5	1	6
樟 葉 南	2	40	27	67	4	-	4	2	34	21	55	5	2	7	3	35	37	72	4	5	9
磯 島	2	38	20	58	7	-	7	2	24	25	49	1	1	2	2	33	27	60	8	1	9
蹉 跎 西	3	49	26	75	4	-	4	2	20	33	53	3	-	3	2	36	26	62	13	1	14
樟 葉 西	2	22	27	49	2	1	3	2	32	34	66	6	3	9	2	32	32	64	3	3	6
田 口 山	2	23	34	57	2	1	3	2	28	39	67	7	1	8	2	29	27	56	7	2	9
西 牧 野	2	18	24	42	1	-	1	2	28	20	48	2	1	3	2	18	28	46	-	1	1
川 越	1	9	16	25	1	-	1	1	6	10	16	3	2	5	1	13	9	22	7	2	9
蹉 跎 東	2	32	19	51	5	-	5	1	17	19	36	6	1	7	2	26	35	61	5	3	8
桜 丘 北	2	22	16	38	4	1	5	1	23	13	36	2	1	3	1	19	17	36	4	3	7
津 田 南	2	30	39	69	1	3	4	3	39	46	85	6	1	7	4	59	56	115	7	5	12
樟 葉 北	2	29	38	67	7	2	9	2	40	30	70	7	1	8	2	23	24	47	2	2	4
船 橋	2	31	31	62	5	4	9	2	33	32	65	8	2	10	2	30	30	60	10	1	11
菅 原 東	4	68	59	127	10	2	12	5	96	68	164	19	5	24	5	89	78	167	6	6	12
山 田 東	1	18	13	31	5	1	6	1	12	20	32	3	2	5	1	13	13	26	5	2	7
藤 阪	2	28	35	63	4	-	4	2	26	23	49	4	1	5	2	31	29	60	3	1	4
平 野	3	46	43	89	6	-	6	3	41	49	90	5	3	8	3	49	52	101	7	3	10
長 尾	1	17	16	33	5	-	5	2	26	19	45	3	1	4	2	23	20	43	-	1	1
東 香 里	2	27	30	57	5	4	9	2	27	29	56	2	1	3	2	39	26	65	9	1	10
伊 加 賀	3	41	54	95	5	3	8	3	51	40	91	3	2	5	3	44	47	91	6	2	8
西 長 尾	2	32	34	66	3	2	5	2	26	24	50	5	2	7	2	29	31	60	8	1	9
禁 野	3	48	30	78	5	1	6	2	36	34	70	4	2	6	2	29	43	72	3	4	7

小 学 校	第 4 学年							第 5 学年							第 6 学年							全 学 年							
	学級数・児童数							学級数・児童数							学級数・児童数							学級数・児童数							
	支援数							支援数							支援数							支援数							
	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計
枚 方	3	54	52	106	5	2	7	4	60	65	125	10	6	16	3	50	56	106	2	2	4	28	292	325	617	9	40	16	56
枚方第二	3	41	48	89	10	2	12	3	50	46	96	5	2	7	3	40	37	77	5	1	6	24	268	263	531	6	30	12	42
蹠 跚	2	30	38	68	5	2	7	2	32	23	55	5	-	5	2	38	27	65	4	-	4	17	194	155	349	5	30	7	37
香 里	4	68	57	125	12	4	16	4	54	61	115	8	2	10	4	60	53	113	7	5	12	34	359	347	706	11	47	17	64
開 成	3	41	33	74	4	2	6	2	32	34	66	7	6	13	3	46	43	89	7	1	8	21	203	202	405	7	28	15	43
五 常	3	39	46	85	9	1	10	3	53	42	95	2	1	3	2	41	31	72	2	-	2	21	268	234	502	5	30	5	35
春 日	3	42	41	83	11	4	15	3	39	34	73	13	5	18	3	44	30	74	10	2	12	25	212	218	430	9	47	20	67
桜 丘	3	49	40	89	8	4	12	3	39	43	82	5	6	11	3	47	38	85	3	3	6	24	250	235	485	7	30	18	48
山 田	1	14	17	31	5	2	7	2	21	20	41	4	3	7	1	14	12	26	4	3	7	12	84	98	182	5	22	10	32
明 倫	2	15	23	38	2	2	4	2	23	17	40	5	1	6	2	24	19	43	4	4	8	17	136	123	259	5	21	10	31
殿山第一	2	18	27	45	2	3	5	2	35	27	62	5	3	8	2	33	28	61	5	3	8	18	150	165	315	6	21	14	35
殿山第二	3	44	35	79	7	1	8	2	34	37	71	2	-	2	2	39	30	69	1	1	2	20	220	216	436	5	20	9	29
樟 葉	4	64	68	132	11	4	15	4	66	60	126	7	5	12	4	64	63	127	6	6	12	33	349	348	697	11	49	23	72
津 田	3	38	38	76	5	4	9	2	33	39	72	5	4	9	3	38	48	86	5	3	8	21	201	234	435	7	31	18	49
菅 原	3	47	37	84	4	3	7	3	38	36	74	5	1	6	3	41	34	75	3	-	3	21	243	215	458	5	28	8	36
氷 室	2	24	20	44	3	-	3	2	23	21	44	2	2	4	2	28	18	46	2	-	2	14	134	110	244	3	11	3	14
山 之 上	4	57	50	107	10	1	11	4	68	51	119	7	4	11	3	48	59	107	3	2	5	29	324	328	652	8	40	17	57
牧 野	3	51	52	103	7	5	12	3	50	53	103	8	3	11	4	49	64	113	7	9	16	30	310	312	622	11	58	28	86
交 北	2	29	38	67	7	5	12	2	26	37	63	4	4	8	2	25	35	60	7	4	11	20	175	199	374	8	35	14	49
香 陽	2	25	36	61	1	4	5	2	28	36	64	8	2	10	2	27	28	55	5	1	6	18	170	189	359	6	32	11	43
招 提	2	39	29	68	5	-	5	2	33	29	62	5	2	7	2	32	28	60	6	6	12	19	199	168	367	7	27	16	43
中 宮	3	39	42	81	5	1	6	3	38	36	74	8	5	13	3	43	37	80	6	2	8	24	216	243	459	7	31	15	46
小 倉	2	33	35	68	8	4	12	2	38	26	64	8	5	13	2	32	34	66	9	3	12	21	202	183	385	8	37	19	56
樟 葉 南	2	47	26	73	8	2	10	2	45	24	69	9	-	9	3	39	38	77	6	3	9	21	240	173	413	7	36	12	48
磯 島	2	27	27	54	8	5	13	2	31	24	55	2	2	4	2	29	32	61	4	3	7	19	182	155	337	7	30	12	42
蹠 跚 西	3	33	40	73	5	2	7	3	39	34	73	5	4	9	3	46	33	79	8	6	14	23	223	192	415	7	38	13	51
樟 葉 西	2	27	37	64	5	1	6	2	26	36	62	3	2	5	2	36	34	70	7	3	10	19	175	200	375	7	26	13	39
田 口 山	2	31	32	63	2	1	3	2	35	30	65	5	3	8	2	38	33	71	2	1	3	19	184	195	379	7	25	9	34
西 牧 野	2	32	22	54	7	1	8	2	18	21	39	3	2	5	2	30	32	62	6	6	12	16	144	147	291	4	19	11	30
川 越	1	12	12	24	3	2	5	1	17	10	27	6	-	6	1	8	10	18	5	1	6	11	65	67	132	5	25	7	32
蹠 跚 東	2	24	31	55	2	3	5	3	33	42	75	6	-	6	2	31	35	66	2	3	5	17	163	181	344	5	26	10	36
桜 丘 北	2	28	26	54	4	4	8	2	22	20	42	6	2	8	2	19	22	41	3	2	5	17	133	114	247	7	23	13	36
津 田 南	4	49	64	113	10	2	12	4	55	62	117	9	2	11	4	71	63	134	9	4	13	30	303	330	633	9	42	17	59
樟 葉 北	2	34	22	56	5	4	9	2	27	26	53	3	3	6	2	29	18	47	4	3	7	18	182	158	340	6	28	15	43
船 橋	3	34	42	76	6	6	12	3	44	35	79	12	5	17	3	46	35	81	5	3	8	24	218	205	423	9	46	21	67
菅 原 東	5	82	79	161	12	8	20	6	96	95	191	14	6	20	5	82	84	166	10	3	13	45	513	463	976	15	71	30	101
山 田 東	1	15	17	32	7	2	9	2	18	21	39	5	1	6	1	12	13	25	4	1	5	13	88	97	185	6	29	9	38
藤 阪	2	29	26	55	4	1	5	2	31	29	60	1	2	3	3	30	43	73	2	4	6	18	175	185	360	5	18	9	27
平 野	3	50	48	98	8	3	11	3	48	48	96	5	3	8	4	72	40	112	10	2	12	27	306	280	586	8	41	14	55
長 尾	2	28	22	50	3	1	4	2	32	23	55	4	3	7	2	35	19	54	7	4	11	16	161	119	280	5	22	10	32
東 香 里	2	20	31	51	5	4	9	2	33	23	56	4	3	7	2	29	19	48	6	-	6	18	175	158	333	6	31	13	44
伊 加 賀	3	39	37	76	5	3	8	3	40	41	81	6	-	6	3	36	36	72	-	1	1	24	251	255	506	6	25	11	36
西 長 尾	2	26	23	49	3	2	5	2	26	32	58	1	2	3	2	36	32	68	5	3	8	18	175	176	351	6	25	12	37
禁 野	2	37	33	70	9	3	12	2	36	30	66	5	2	7	2	33	32	65	1	4	5	21	219	202	421	8	27	16	43

〔注〕支援数のうち、児童数は内数。

〔小学校学年別合計〕

(単位：クラス、人)

	学級数・児童数				支援数			
	クラス数	男子	女子	合計	クラス数	男子	女子	合計
第1学年	99	1,483	1,393	2,876	306	183	56	239
第2学年	101	1,473	1,516	2,989		232	88	320
第3学年	103	1,518	1,520	3,038		245	98	343
第4学年	111	1,605	1,599	3,204		267	120	387
第5学年	113	1,665	1,579	3,244		252	119	371
第6学年	112	1,690	1,555	3,245		219	121	340
合 計	945	9,434	9,162	18,596		1,398	602	2,000

〔注〕支援数のうちクラス数は外数、児童数は内数。

(7) 中学校学級数及び生徒数(学年別 令和7年5月1日現在)

(単位：クラス、人)

中 学 校	第 1 学年							第 2 学年							第 3 学年							全 学 年							
	学級数・生徒数				支援数			学級数・生徒数				支援数			学級数・生徒数				支援数			学級数・生徒数				支援数			
	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計
第 一	5	89	92	181	11	8	19	5	83	99	182	11	7	18	5	96	74	170	8	4	12	24	268	265	533	9	30	19	49
第 二	4	88	83	171	13	1	14	4	74	77	151	6	1	7	4	75	70	145	5	2	7	16	237	230	467	4	24	4	28
第 三	5	98	95	193	5	4	9	4	90	76	166	8	2	10	5	95	109	204	10	5	15	21	283	280	563	7	23	11	34
第 四	6	109	120	229	11	4	15	6	121	112	233	10	-	10	6	116	123	239	5	4	9	23	346	355	701	5	26	8	34
津 田	5	92	99	191	3	3	6	6	100	116	216	4	4	8	6	112	135	247	4	5	9	20	304	350	654	3	11	12	23
枚 方	5	92	86	178	9	7	16	5	101	98	199	8	3	11	5	81	105	186	10	2	12	22	274	289	563	7	27	12	39
中 宮	4	71	62	133	7	8	15	4	90	67	157	7	3	10	4	71	75	146	2	4	6	18	232	204	436	6	16	15	31
招 提	3	64	66	130	13	3	16	4	68	85	153	5	7	12	4	59	68	127	10	6	16	17	191	219	410	6	28	16	44
楠 葉	5	85	81	166	1	1	2	4	77	76	153	3	3	6	5	86	82	168	3	1	4	17	248	239	487	3	7	5	12
楠葉西	3	54	59	113	6	4	10	3	42	58	100	2	3	5	4	63	65	128	2	5	7	15	159	182	341	5	10	12	22
東香里	6	111	115	226	15	14	29	5	103	108	211	8	8	16	5	103	98	201	11	9	20	26	317	321	638	10	34	31	65
長 尾	4	77	57	134	5	4	9	4	76	60	136	11	2	13	4	73	72	145	9	3	12	17	226	189	415	5	25	9	34
杉	7	140	110	250	11	6	17	7	132	137	269	6	6	12	7	141	136	277	9	2	11	27	413	383	796	6	26	14	40
山 田	3	51	40	91	9	4	13	3	59	56	115	8	2	10	3	47	39	86	9	3	12	14	157	135	292	5	26	9	35
渚 西	3	56	34	90	7	2	9	3	61	37	98	4	3	7	3	58	46	104	5	1	6	14	175	117	292	5	16	6	22
桜 丘	3	43	81	124	5	5	10	4	63	63	126	8	3	11	4	69	80	149	4	-	4	16	175	224	399	5	17	8	25
蹠 跽	5	107	86	193	11	3	14	7	130	116	246	8	1	9	7	147	105	252	6	2	8	24	384	307	691	5	25	6	31
招提北	3	41	50	91	-	6	6	2	34	38	72	6	1	7	3	42	52	94	3	2	5	11	117	140	257	3	9	9	18
長尾西	3	62	58	120	5	5	10	4	75	76	151	6	3	9	4	78	83	161	4	2	6	15	215	217	432	4	15	10	25

〔注〕支援数のうち、生徒数は内数。

〔中学校学年別合計〕

(単位：クラス、人)

	学級数・生徒数				支援数			
	クラス数	男子	女子	合計	クラス数	男子	女子	合計
第1学年	82	1,530	1,474	3,004	103	147	92	239
第2学年	84	1,579	1,555	3,134		129	62	191
第3学年	88	1,612	1,617	3,229		119	62	181
合 計	357	4,721	4,646	9,367		395	216	611

〔注〕支援数のうちクラス数は外数、生徒数は内数。

(8) 指定校変更・通学区域外就学許可件数

(単位：件)

	許 可 基 準	許 可 期 間	件 数
1	住所移転によるもの	学年末まで（小学校5年6年、中学校2年3年は卒業まで） （枚方市内の転居に限る）	118
2	新学期当初における住所移転（前向就学）	必要とする期間	40
3	家屋の新築・増改築に伴う仮住まいからの通学	必要とする期間	2
4	学年を通じて再転校におよぶもの	必要とする期間	-
5	事情により住民票のみ異動した場合	必要とする期間	4
6	両親共働き（入院・看病）等により勤務地、 親戚からの通学	必要とする期間	17
7	病院内学級入級によるもの	必要とする期間	7
8	いじめ等によるもの	必要とする期間	3
9	不登校児または生徒の再登校に資するため のもの	必要とする期間	1
10	学校の規模と配置の適正化に伴うもの	必要とする期間	16
11	通学区域と自治会組織が異なる場合	必要とする期間	1
12	その他（教育的配慮を要するもの）	必要とする期間	12
13	学年途中における住所移転	小・中学校共3月31日まで	21

(9) 市立中学校の通学区域制度の弾力的運用

令和8年度市立中学校入学予定者における指定校変更者数

86人

(10) 国立・私立就学に伴う通学区域外就学許可件数

(単位：件)

小 学 校							中 学 校				合 計
1年	2年	3年	4年	5年	6年	小 計	1年	2年	3年	小 計	
50	2	1	-	-	-	53	374	4	7	385	438

(11) 就学猶予・免除数

就学猶予者 2人

(12) 尿検査実施状況

春季実施

(単位：人)

種 別	検査項目等	実施人数	一 次 検 査			二 次 検 査			三 次 検 査		
			蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血
小 学 校		16,605	71	14	110	28	4	61	11	1	59
中 学 校		7,259	98	16	143	50	4	75	26	4	56
合 計		23,864	169	30	253	78	8	136	37	5	115

〔注〕検査結果については、複数の項目に該当する者あり。

・二次・三次検査の蛋白、潜血については、沈渣の結果である。

(13) 結核検診実施状況

(単位：人)

種 別	検査結果等	問 診 調 査	二 次 検 査
小 学 校		18,558	44
中 学 校		9,250	22
合 計		27,808	66

(14) 心臓二次検診実施状況

(単位：人)

種 別	検査結果等	在 籍 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	管理不要者数
小 学 校		18,596	335	147	188
中 学 校		9,367	317	155	162
合 計		27,963	652	302	350

〔注〕在籍者数は、令和7年5月1日現在。

(15) モアレットポグラフィ法での脊柱検診実施状況

(単位：人)

種 別	検査結果等	対 象 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	要精密検査数
小 学 校		3,355	2,965	39	10
中 学 校		3,117	2,365	48	38
合 計		6,472	5,330	87	48

〔注〕対象者数には小学校5年生、中学校1年生と令和4年度の経過観察者、欠席者、他市転入者を含む。

(16) 独立行政法人日本スポーツ振興センター加入者数及び補償状況

(単位：人、件、円)

種 別	補償状況等	加 入 者 数	補 償 等 の 状 況	
			件 数	金 額
小 学 校		18,464	1,110	3,104,957
中 学 校		9,291	1,253	5,048,505
合 計		27,755	2,363	8,153,462

【児童生徒課】

(1) 学校相談について

① スクールカウンセラー相談者延べ人数

(単位：人)

学期別	1 学期	2 学期	3 学期	合 計
児童・生徒	961	874	861	2,696
保 護 者	444	515	419	1,378
教 員	2,242	2,163	1,718	6,123
合 計	3,647	3,552	2,998	10,197

② 心の教室相談員相談者延べ人数

(単位：人)

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
人 数	673	1,321	1,775	1,090	115	1,494	1,605	1,661	1,242	1,447	1,480	1,226	15,129

③ スクールアドバイザー派遣校園数

(単位：園、校)

校 種	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校
派遣校園数	-	2	2

(2) 教育相談について

① 教育相談（子どもの笑顔を守るコール）

(a) 教育相談員数及び教育相談者延べ人数

(単位：日、人)

相談日数（開設日）	相談員数	相談者延人数
242	3	200

(b) 相談者延べ人数の内訳

(単位：人)

区 分	保護者（父母）	児童・生徒	その他（祖父母含む）	計
教育安心ホットライン	154	5	22	181
いじめ専用ホットライン	18	1	-	19
計	172	6	22	200

(c) 内容別相談延べ人数

(単位：人)

区 分	非行一般	いじめ	いじめ除く 友人関係	不登校	進路問題	親子関係	生活全般	発達関係	学校関係等	その他	計
教 育 安 心 ホットライン	3	23	7	17	3	7	1	8	73	39	181
いじめ専用 ホットライン	-	14	-	-	-	-	-	2	2	1	19
計	3	37	7	17	3	7	1	10	75	40	200

(d) 相談対象者別・曜日別相談件数

(単位：人)

区 分	件 数	相談対象者別					曜日別				
		幼 児	小学生	中学生	高校生	その他	月	火	水	木	金
教育安心ホットライン	181	4	95	75	4	3	38	29	42	31	41
いじめ専用ホットライン	19	1	11	5	2	-	6	4	2	3	4
計	200	5	106	80	6	3	44	33	44	34	45

② 教育相談（継続的カウンセリング及び「ルポ」不登校専門相談）月別相談者延べ人数

(単位：人)

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
継続的 カウンセリング	82	126	128	157	95	143	128	100	138	122	129	121	1,469
「ルポ」 不登校専門相談	2	22	24	27	8	23	26	26	22	21	31	26	258
計	84	148	152	184	103	166	154	126	160	143	160	147	1,727

(3) 教育支援センター運営について

教育支援センター「ルポ」児童・生徒数

(単位：人)

学年	登録				訪問			
	男	女	計	小中学校別 合 計	男	女	計	小中学校別 合 計
小学 1年	1	-	1	38	-	-	-	-
小学 2年	2	2	4		-	-	-	
小学 3年	3	-	3		-	-	-	
小学 4年	7	6	13		-	-	-	
小学 5年	4	4	8		-	-	-	
小学 6年	4	5	9		-	-	-	
中学 1年	8	12	20	60	-	-	-	1
中学 2年	14	8	22		-	-	-	
中学 3年	5	13	18		1	-	1	
計	48	50	98	98	1	-	1	1

【支援教育課】

(1) 支援学級の設置状況

(単位：学級)

種別	小学校	中学校	計
弱視	1	1	2
難聴	3	2	5
知的障害	117	40	157
肢体不自由	22	6	28
病弱・身体虚弱	7	4	11
自閉症・情緒障害	156	50	206
計	306	103	409

〔注〕

- ・令和7年5月1日現在。
- ・病弱・身体虚弱学級のうち院内学級は、市立ひらかた病院と星ヶ丘医療センター内に設置。
- ・通常の学級に在籍する児童・生徒を対象とした通級指導教室として、小学校 31 校（枚方・枚方第二・蹠陀・香里・開成・五常・春日・桜丘・山田・明倫・殿山第一・殿山第二・津田・氷室・牧野・交北・中宮・小倉・磯島・蹠陀西・樟葉西・川越・津田南・船橋・菅原東・山田東・平野・長尾・伊加賀・西長尾・禁野）、中学校全 19 校に設置。
- ・枚方市立教育文化センター内に難聴児童・生徒を対象とした通級指導教室を設置。

(2) 枚方市帰国児童等に対する教育指導員派遣事業（令和7年5月1日現在）

(単位：人)

言語	中国語	ベトナム語	スペイン語	ネパール語	ウルドゥー語	インドネシア語	計
教育指導員	5	3	2	1	2	1	14
対象小学生	7	6	4	-	3	-	20
対象中学生	3	1	-	1	-	1	6
対象児童・生徒合計	10	7	4	1	3	1	26

(3) 青色防犯パトロール実施状況（出動回数）

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本庁(※1)	8	5	14	14	13	10	17	9	12	8	9	12	131
教育委員会	10	8	8	12	15	8	9	8	9	8	8	11	114
環境部	-	3	3	4	3	3	5	3	4	2	3	1	34

〔注〕・すべて再掲。

・(※1) 危機管理政策課・消費生活センター・子ども未来部。

【放課後子ども課】

(1) 総合型放課後事業

① 留守家庭児童会室実施状況（令和7年5月1日現在）

（単位：人）

児童会	班	定員	入室児童	待機児童	児童会	班	定員	入室児童	待機児童
開成	2	107	107	-	菅原東	4	197	185	-
山田	1	50	34	-	蹉跎東	2	87	76	-
香里	4	210	208	-	磯島	2	100	71	-
明倫	1	61	58	-	氷室	1	62	61	-
津田	2	94	87	-	藤阪	2	99	71	-
牧野	3	163	163	-	平野	3	150	147	-
香陽	2	100	96	-	桜丘	3	149	122	-
小倉	2	105	105	1	殿山第一	2	100	84	-
樟葉	3	187	186	-	春日	2	96	96	-
殿山第二	2	100	77	-	西牧野	2	100	79	-
蹉跎	2	100	94	-	山田東	1	50	29	-
五常	3	150	123	-	蹉跎西	2	101	101	-
交北	2	87	82	-	長尾	1	50	50	-
菅原	2	108	108	1	川越	1	50	32	-
招提	1	61	61	-	桜丘北	1	61	61	1
枚方第二	3	155	155	1	樟葉北	2	100	98	-
田口山	2	100	81	-	船橋	2	108	107	-
中宮	2	98	82	-	東香里	2	100	77	-
枚方	3	148	129	-	伊加賀	3	150	144	-
山之上	3	156	154	-	西長尾	2	100	92	-
津田南	3	150	143	-	禁野	3	150	140	-
樟葉西	2	107	104	-	計	95	4,857	4,445	4
樟葉南	2	100	85	-					

〔注〕対象は、小学校1年生～6年生の留守家庭児童

② オープンスクエア実施状況（令和7年5月1日現在）

（単位：人）

児童会	登録児童	児童会	登録児童	児童会	登録児童	児童会	登録児童	児童会	登録児童
開成	187	殿山第二	139	枚方	280	藤阪	120	川越	62
山田	90	蹉跎	128	山之上	212	平野	230	桜丘北	100
香里	231	五常	199	津田南	163	桜丘	170	樟葉北	174
明倫	118	交北	109	樟葉西	139	殿山第一	130	船橋	118
津田	147	菅原	136	樟葉南	145	春日	152	東香里	140
牧野	199	招提	146	菅原東	348	西牧野	165	伊加賀	198
香陽	134	枚方第二	239	蹉跎東	120	山田東	77	西長尾	108
小倉	158	田口山	118	磯島	148	蹉跎西	141	禁野	184
樟葉	232	中宮	179	氷室	69	長尾	76	計	6,858

③ 土曜日における児童健全育成事業（枚方子どもいきいき広場事業）

（単位：人）

実施日数	延参加児童数	延参加ボランティア数
12～45日の間で各校区にて設定	33,180	13,306

【教職員課】

(1) 教職員の人事

① 新任、転出入、退職、配置換等状況

(単位：人)

職 名		退 職	市教委に 移籍	転出	採 用	市教委 から移籍	転 入	再任用	配置換
小 学 校	校 長	6	－	－	4	2	－	6	10
	教 頭	－	2	2	4	2	1	－	12
	教 諭	21	3	14	32	－	16	3	179
	養 護 教 諭	－	－	－	1	－	－	－	4
	栄養教諭	1	－	－	1	－	－	－	2
	事務職員（主事等）	1	－	1	2	－	－	3	5
	小 計	29	5	17	44	4	17	12	212
中 学 校	校 長	1	－	－	2	－	－	5	2
	教 頭	－	1	－	1	1	1	－	5
	教 諭	30	1	5	21	1	5	18	82
	養 護 教 諭	1	－	－	1	－	－	－	1
	栄養教諭	－	－	－	－	－	－	－	1
	事務職員（主事等）	1	－	－	－	－	－	4	9
	小 計	33	2	5	25	2	6	27	100
計		62	7	22	69	6	23	39	312

② 臨時的任用者雇用状況

(単位：人)

種 別	小 学 校	中 学 校	計
講 師	158	164	322
臨 時 講 師	79	49	128
産 休 臨 時 講 師	56	24	80
育児休業任期付講師	120	46	166
配偶者同行休業任期付講師	－	－	－
任期付講師・講師（市費）	44	17	61
養 護 助 教 諭	15	4	19
臨 時 養 護 助 教 諭	5	2	7
産休臨時養護助教諭	6	2	8
育児休業任期付養護助教諭	7	7	14
臨 時 技 師	10	4	14
産 休 臨 時 技 師	－	－	－
臨 時 主 事	29	14	43
産 休 臨 時 主 事	－	3	3
育児休業任期付主事	1	3	4
非 常 勤 講 師	74	27	101
非常勤講師（市費）	47	45	92
計	651	411	1,062

〔注〕 延べ人数。小・中学校の任期付講師・講師（市費）と非常勤講師（市費）は市費負担。

③ 教職員配置状況

(単位：人)

種 別	小 学 校	中 学 校	計
校 長・教 頭・教 諭	1,123	563	1,686
養 護 教 諭	38	18	56
栄養職員	15	1	16
事務職員（主事等）	40	24	64
計	1,216	606	1,822

〔注〕 令和7年5月1日現在（臨時的任用者を除く）。

(2) 教職員健康診断

- ① 定期健康診断（実施日：令和7年7月23日～8月21日、12月5日）
（雇入れ時健康診断：令和8年2月4日～3月27日）

（単位：人）

種別 区分	問診・診察	身長 体重	視力 聴力	結核検査	血圧	尿検査	
				胸部X線 直接撮影		蛋白・糖・潜血	(2次検査) 沈渣
小学校	1,153	1,154	1,154	1,168	1,153	1,140	53
中学校	669	670	669	673	669	661	33
計	1,822	1,824	1,823	1,841	1,822	1,801	86

（単位：人）

種別 区分	腹囲	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	HbA1c	心電図検査
		血色素量・ 赤血球数	GOT・GPT ・γ-GTP	LDL コレステロール・HDL コレステロール・トリグリセ リド			安静12誘導
小学校	885	887	887	887	887	887	890
中学校	482	482	482	482	482	482	486
計	1,367	1,369	1,369	1,369	1,369	1,369	1,376

〔注〕幼稚園教職員については、令和2年度より職員課へ事務移管。

- ② VDT 検診（実施日：令和7年12月1日、12月2日）

（単位：人）

種別	区分	小学校	中学校	計
眼科検査		43	25	68

- ③ 胃検診（対象者：40歳以上希望者 実施日：令和7年7月29日、7月30日、8月1日、8月19日）

（単位：人）

種別	区分	小学校	中学校	計
胃検診		14	7	21

- ④ 子宮がん検診（実施日：令和7年11月4日～12月5日）

（単位：人）

種別	区分	小学校	中学校	計
子宮がん		97	39	136

- ⑤ B型肝炎血液検査（対象者：養護教諭 実施日：令和7年6月16日～令和8年3月18日）

（単位：人）

種別 区分	抗原抗体検査	ワクチン接種	抗原抗体検査（再）
小学校	31	9	3
中学校	16	9	3
計	47	18	6

- ⑥ 乳がん検査（対象者：30歳以上希望者 実施日：令和7年10月1日～12月26日）

（単位：人）

種別	区分	小学校	中学校	計
乳がん		93	37	130

- ⑦ C型肝炎血液検査（対象者：30歳以上希望者 実施日：令和7年7月23日～8月21日）

（単位：人）

種別	区分	小学校	中学校	計
C型肝炎		29	9	38

- ⑧ ストレスチェック (1 回目実施日：令和 7 年 7 月 7 日～7 月 20 日)
(2 回目実施日：令和 7 年 11 月 24 日～12 月 7 日)

(単位：人)

区 分	1 回目			2 回目		
	小 学 校	中 学 校	計	小 学 校	中 学 校	計
対 象 者 数	1,359	730	2,089	1,354	715	2,069
回 答 者 数	1,299	676	1,975	1,302	672	1,974

【教育研修課】

- (1) 教職員研修講座等

(単位：回)

区 分	計
1. 基本研修	74
(1) 初任期教職員育成研修	58
(2) 中堅教諭等資質向上研修	16
2. 職務研修	54
(1) 基本職務研修	28
(2) リーダー研修	3
(3) 管理職研修	10
(4) 事務職員研修	7
(5) 就学前研修	6
3. 専門研修	34
(1) 課題別研修	6
(2) 実技研修	3
(3) 授業力向上研修	25
4. パッケージ講座	33
(1) 授業の達人養成講座	12
(2) 専門性の向上	21
計	195

(単位：回)

実施形態	計
集合研修	192
双方向オンライン	11
動画配信	28
その他	9

[注]・重複を含む、別日程は別カウント

【教育指導課】

- (1) 令和 7 年度学校園活性化事業における研究テーマ

① 幼稚園

幼稚園名	研究テーマ
枚方	「自分の思いや考えを伝え合える幼児の姿を目指して」 ～幼児が自ら心を動かして遊び、人との関わりや繋がりを広げていくために～
香里	子どもの問いやつぶやきをひきだす仕掛け ～教師の援助や環境の設定～
樟葉	つながるって楽しいな ～さまざまな遊びや人との関わりを通して、子どもが躍動する保育をめざす～
高陵	主体的に活動に取り組み、友達とつながり合う姿を目指して ～心躍らせ、夢中になって遊ぶ環境構成・援助について考える～
蹺跼	心が動く！ わくわく さだっこ ～人との関りを通して～
田口山	ひろげよう つなげよう みんなの WA！ ～遊びの中で育むコラボレーションの力～

② 小学校

小学校名	研究テーマ
枚方	自分のおもいや考えを伝え合える子どもの育成（生活科・総合的な学習の時間）
枚方第二	資料を読み解き、対話を通して思考を深く掘り下げ、探究的な考え方でできる子どもの育成（総合、生活科を通して）
蹠陀	自分を高める子・自分と向き合う子・他者とつながる子の育成 ～探究的な学びの充実を通して～
香里	ワクワクからはじまる 学びの必然性のある 授業づくり ～子どもの主体性を引き出す しかけと支援～
開成	児童が主体的に活動し、体力向上に繋げる研究 ～体育科を通して、運動が楽しいと思える授業づくり～
五常	「えらぶ・考える・わかる」子を育てる
春日	「主体的、対話的で深い学びのある国語教育をめざして～考える・つながる・かがやく」を研究テーマに掲げ、国語科の授業改善に取り組む
桜丘	学校教育目標の達成に向けた児童支援について
山田	【算数】みんなで学ぼう山田っ子 ～学び合う関係づくり～
明倫	チームで学ぶ、学校教育目標（自立した子ども、心豊かな子ども、健康な子ども）の具現化 ～心理的安全性の高い学級の中で、子ども達が主体的に学び、成長できる授業づくり・学級集団づくり～
殿山第一	“できた”を、実感できる体育の授業づくり
殿山第二	決める力～自ら考えるために
樟葉	子どもの主体性を育む授業づくり ～生徒指導の4つの視点を取り入れた授業の充実・探究型学習（PBL）の実施
津田	仲間とつながる授業づくり ～反転学習を取り入れた協同的な学び～
菅原	主体的な学びと自己調整力の強化をめざして
氷室	めざす児童像「主体的に取り組む児童の育成」
山之上	質の高い言語活動を通して、子どもが主体的に学ぶ個別最適な学習 ～どの子も安心して参加できる授業を目指して～
牧野	言語活動を通して、自分の考えを表現する力の育成 ～言葉の力を高める～
交北	自らの考えを持ち、表現できる児童の育成 ～一人ひとりの児童を大切する支援体制の構築～
香陽	自分の考えを他者に表現するために読む力の向上
招提	対話を通してともに学び合い、国語科でつけた力を他教科や生活の中で活用することができる子どもの育成
中宮	次代を担う主体性を育む ～年間を通した「主体的に学ぶ力」の育成のための主体的な取り組みの実践～
小倉	すべての子どもが主体的に学びに向かい、ともに学び、ともに育つ姿を目指す ～UD&ID（ユニバーサルデザインとインクルーシブデザイン）による個別最適な学びと協働的な学びの往還～
樟葉南	仲間との交流を通して、筋道を立てて考え表現できる子どもを育てる授業を目指して ～児童が思考力を伸ばせる授業デザインの研究～
磯島	自考自行 ～合意形成するための授業の手立てと教師の支援～
蹠陀西	深く考え、心豊かな実践力のある、たくましい子どもの育成
樟葉西	主体的に学ぶ子どもの育成をめざす ～学びを支える環境づくり～
田口山	主体的に取り組む児童の育成 ～目標を達成するためにシンキングツールを活用し、学びを深める授業づくり～
西牧野	児童の非認知能力育成を目的とした国語科・算数科の授業改善 ～豊かな人間関係と自己実現を促すために～
川越	演劇的手法による表現力・想像力・コミュニケーション能力の育成
蹠陀東	よく聴き、よく考え、主体的に取り組める子どもを育てる授業を目指して ～個別最適な学びと協働的な学びの往還で付けた力を実感できる授業の研究～
桜丘北	「私が考える 私が決める」自身がもつことと自己調整・自己決定を繰り返すことで、自分自身（私）の力をつける。そして、将来、社会で成長できる人 挑戦する人を育てる。
津田南	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・「児童が主体的に考え、学ぶ授業を実現する」ための仲間づくり、学級づくりの推進
樟葉北	国語科「自ら学び方を考え、判断し、行動できる子の育成」
船橋	見通しから自力解決につながる道筋を見つけられる子どもの育成 ～算数科を主体として、ツールを用いた指導方法の研究～
菅原東	学び方を学ぶ ～個別最適な学び・協働的な学習の実現に向けて～
山田東	ともに学び合う ～チャレンジが楽しくなる体育～
藤阪	文章を正しく読み、自分の思いや考えを表現できる子どもの育成
平野	伝え合う力、言語力を高めるための授業デザインを目指して
長尾	より相手意識を持って考える子どもの育成
東香里	自ら課題を見つけ、論理的に探究し、課題解決に向けて主体的に行動できる子どもの育成（総合的な学習の時間・生活科）
伊加賀	自立した学び手を育てる ～自己選択できる授業づくり～
西長尾	非認知能力を育む授業改善の手立ての研究（全教科）
禁野	主体的に学び、伝えつながり合う子の育成 ～個別最適な学びと協働的な学びを通して～

③ 中学校

中学校名	研究テーマ
第一	協同的な学びの充実 ～生徒と生徒がつながる～
第二	子どもたちが自ら学びに向かう、わくわくする授業づくり
第三	主体的・対話的で深いまなびの実現に向けた、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図った授業づくり
第四	LINK 6 ～自分を知る、自分で決める、チャレンジ・行動、やりぬく、振り返り・改善、コミュニケーション力
津田	自他を大切に、自ら考え、自ら学び、予測困難な時代を生き抜く心豊かでたくましい子どもの育成
枚方	総合的な学習の時間における探究的な学び（PBL）の実施・自ら、気づき、考え、動きだす生徒の育成
中宮	学びの楽しさ、つなげ方、深め方を生徒が学べる課題設定
招提	全ての生徒が学べる環境づくりを意識した授業の研究 ～協働学習に加え個別最適な学びの視点を取り入れた授業の実践～
楠葉	生徒と授業、生徒同士をつなぐ授業づくり
楠葉西	学校でしかできない「学ぶ喜び」をすべての生徒に
東香里	授業づくり ～探究的な学びの構築に向けて～
長尾	探究心を養う授業づくり ～非認知能力の育成、ICT を活用した知識技能の定着・生成 AI の活用を柱として～
杉	自ら計画的に学ぶ生徒の育成 アクションガイドを活用し、非認知能力の向上を実感させる
山田	「わかった!」「知りたい!」を軸にツナガル ツナゲル ～生徒の「わかった」「もっと知りたい」を引き出す授業づくりと教職員のファシリテーションスキルの研究～
渚西	自己成長力「生徒に委ねる授業の研究」
桜丘	自らの学びを「つなぐ・つながる・つなげる」 個別最適な学びと協働的な学びの理解と技術をもとにした授業改善を目指して
蹉跎	自立 ～自ら考え、共に学び、高めあう生徒の育成～
招提北	学びでつながる学習集団づくり ～全員が学びに向かう学習集団へ～
長尾西	生徒の主体性と協働性を高める

(2) 副読本

副読本名	コンテンツアクセス数		
	小学3年生対象	小学4年生対象	その他
わたしたちのまち枚方（デジタル版）	197,575	84,642	5,920

(3) 主催事業（学校園活性化事業）

事業名	開催日	内容	参加者数等
菊のひらかた・菊咲かそう体験	令和7年10月29日（水） ～11月17日（月）	学校園で栽培した菊を展示	菊栽培：40校園 菊花展出展：28校園
枚方市小学校合同音楽会	令和7年11月18日（火） ～11月21日（金）	枚方市内全小学校参加の合同音楽会	3,390名
枚方市小学生スポーツCarnival	令和7年9月20日（土）	かけっこ、短距離走、走り高跳び、跳び箱、縄跳び、レクリエーションスポーツ等	244名
漢字をテーマに思いを伝える 作文コンクール	令和8年1月24日（土） （表彰式・発表会）	小・中学生から応募のあった作品を審査し、部門ごとに入選作品を表彰・発表	11,156点

(4) 友好交流事業

事業名	開催日	内容
第36回上海市長寧区 児童書画展	令和7年11月7日（金） ～11月10日（月）	上海市長寧区より送付された作品を枚方市総合文化芸術センターで展示

資 料 編

【学校支援課】

(1) 要保護及び準要保護児童・生徒援助費、中学校夜間就学援助

① 就学援助の状況

(単位：人、%)

区 分	年 度	児童・生徒数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	否認定者数 (D)	申請率 (B/A)	認定率 (C/A)	否認定率 (D/A)
小学校	5	19,376	3,993	3,341	652	20.6	17.2	3.4
	6	18,998	3,903	3,230	673	20.5	17.0	3.5
	7	18,596	3,686	3,048	638	19.8	16.4	3.4
中学校	5	9,916	2,327	1,944	383	23.5	19.6	3.9
	6	9,677	2,317	1,896	421	23.9	19.6	4.4
	7	9,367	2,165	1,789	376	23.1	19.1	4.0
合 計	5	29,292	6,320	5,285	1,035	21.6	18.0	3.5
	6	28,675	6,220	5,126	1,094	21.7	17.9	3.8
	7	27,963	5,851	4,837	1,014	20.9	17.3	3.6

〔注〕児童・生徒数は、各年度5月1日現在。

② 就学援助費目別支給状況

(単位：人、円)

区 分	年 度	学 用 品 費 等		新入学児童・生徒		小 学 校 入 学		小学校入学準備金	
		人 員		人 員	学用品費	人 員	準 備 金	人 員	(差 額 分)
小学校	5	3,340	49,448,295	97	5,243,820	430	23,245,800	-	-
	6	3,228	47,981,171	102	5,820,120	434	24,764,040	355	1,065,000
	7	3,048	45,406,727	76	4,336,560	364	20,769,840	-	-
中学校	5	1,945	50,794,040	84	5,292,000				
	6	1,896	49,630,493	77	4,851,000				
	7	1,789	46,990,065	36	2,268,000				
合 計	5	5,285	100,242,335	181	10,535,820	430	23,245,800	-	-
	6	5,124	97,611,664	179	10,671,120	434	24,764,040	355	1,065,000
	7	4,837	92,396,792	112	6,604,560	364	20,769,840	-	-

(単位：人、円)

区 分	年 度	中 学 校 入 学		中学校入学準備金		修 学 旅 行 費		学 校 給 食 費	
		人 員	準 備 金	人 員	(差額分)	人 員		人 員	
小学校	5	592	37,296,000			611	17,193,982	3,340	136,298,400
	6	584	36,792,000			611	19,715,909	3,155	132,441,400
	7	611	38,493,000			630	20,956,055	3,048	125,232,800
中学校	5			555	1,665,000	665	25,113,971	951	50,585,480
	6			-	-	646	30,645,882	916	48,529,390
	7			-	-	595	29,156,857	911	48,151,810
合 計	5	592	37,296,000	555	1,665,000	1,276	42,307,953	4,291	186,883,880
	6	584	36,792,000	-	-	1,257	50,361,791	4,071	180,970,790
	7	611	38,493,000	-	-	1,225	50,112,912	3,959	173,384,610

(単位：人、円)

区 分	年 度	校 外 活 動 費		実験実習見学費		小 計	医 療 費		合 計
		人 員	(宿泊分)	人 員			人 員		
小学校	5	554	3,116,412	3,339	1,335,600	273,178,309	457	2,320,072	275,498,381
	6	576	4,020,516	3,223	1,289,200	273,889,356	311	1,353,077	275,242,433
	7	506	3,866,553	3,048	1,219,200	260,280,735	277	1,692,834	261,973,569
中学校	5	216	2,127,637	1,944	874,800	136,452,928	200	1,266,227	137,719,155
	6	60	554,977	1,894	852,300	135,064,042	164	1,101,098	136,165,140
	7	45	358,182	1,789	805,050	127,729,964	146	753,958	128,483,922
合 計	5	770	5,244,049	5,283	2,210,400	409,631,237	657	3,586,299	413,217,536
	6	636	4,575,493	5,117	2,141,500	408,953,398	475	2,454,175	411,407,573
	7	551	4,224,735	4,837	2,024,250	388,010,699	423	2,446,792	390,457,491

[注]・中学校入学準備金(差額分)の記載があるのは、令和5年度に新入学児童生徒学用品費を増額しており、令和4年度小学校第6学年時に中学校入学準備金を受給した世帯で、令和5年度中学校第1学年時に就学援助を認定された世帯は中学校入学準備金と新入学児童生徒学用品費との差額を支給したため。
・小学校入学準備金(差額分)の記載があるのは、令和6年度に新入学児童生徒学用品費を増額しており、令和5年度小学校入学前時に小学校入学準備金を受給した世帯で、令和6年度小学校第1学年時に就学援助を認定された世帯は小学校入学準備金と新入学児童生徒学用品費との差額を支給したため。

③ 中学校夜間学級就学援助費目別支給状況

(単位：人、円)

年 度	学 用 品 費 等		修 学 旅 行 費		校 外 活 動 費		通 学 費		合 計
	人 員		人 員		人 員		人 員		
5	5	96,588	-	-	-	-	5	210,980	307,568
6	3	75,000	-	-	2	4,620	3	179,480	259,100
7	7	111,344	-	-	2	3,290	7	239,870	354,504

[注] 校外活動費は宿泊を伴わないものが対象。

(2) 支援学級等就学奨励費

① 就学奨励費の状況

(単位：人、%)

区 分	年 度	児童・生徒数 (A)	申 請 者 数 (B)	認 定 者 数 (C)	不認定者 数 (D)	申 請 率 (B/A)	認 定 率 (C/A)	不認定率 (D/A)
小学校	5	1,742	1,240 (75)	1,240 (75)	-	71.2	71.2	-
	6	1,860	1,362 (61)	1,361 (61)	1	73.2	73.2	0.1
	7	2,000	1,435 (117)	1,433 (117)	2	71.8	71.7	0.1
中学校	5	509	375 (49)	375 (49)	-	73.7	73.7	-
	6	543	407 (57)	406 (57)	1	75.0	74.8	0.2
	7	611	459 (54)	459 (54)	-	75.1	75.1	-
合 計	5	2,251	1,615 (124)	1,615 (124)	-	71.7	71.7	-
	6	2,403	1,769 (118)	1,767 (118)	2	73.6	73.5	0.1
	7	2,611	1,894 (171)	1,892 (171)	2	72.5	72.4	0.1

[注]・()内は通学費のみの申請で外数。

・認定者数には、職場実習交通費・交流及び共同学習交通費のみの認定者を含む。

② 費目別支給状況

(単位：人、円)

区 分	年 度	学 用 品 費 等		新入学児童・生徒		修 学 旅 行 費		学 校 給 食 費	
		人 員		人 員	学用品費	人 員		人 員	
小学校	5	784	5,113,958	104	2,657,720	112	1,568,235	784	16,134,800
	6	853	5,580,664	120	3,066,600	134	2,123,553	851	17,618,700
	7	896	5,912,758	126	3,594,780	123	2,022,242	896	18,665,600
中学校	5	208	2,557,192	72	2,195,280	55	1,018,570	100	2,364,355
	6	225	2,797,253	75	2,286,750	57	1,333,319	120	2,810,820
	7	268	3,335,828	108	3,402,000	65	1,584,186	145	3,553,040
合 計	5	992	7,671,150	176	4,853,000	167	2,586,805	884	18,499,155
	6	1,078	8,377,917	195	5,353,350	191	3,456,872	971	20,429,520
	7	1,164	9,248,586	234	6,996,780	188	3,606,428	1,041	22,218,640

区 分	年 度	通 学 費		校外活動費(宿泊分)		職 場 実 習 交 通 費		交 流 学 習 交 通 費		合 計
		人 員		人 員		人 員		人 員		
小学校	5	5	17,700	144	855,673			-	-	26,348,086
	6	8	29,220	127	897,106			-	-	29,315,843
	7	6	28,820	157	1,177,501			-	-	31,401,701
中学校	5	1	460	19	188,511	5	4,850	-	-	8,329,218
	6	1	1,080	6	31,612	9	10,500	-	-	9,271,334
	7	1	6,500	6	60,378	22	21,710	-	-	11,963,642
合 計	5	6	18,160	163	1,044,184	5	4,850	-	-	34,677,304
	6	9	30,300	133	928,718	9	10,500	-	-	38,587,177
	7	7	35,320	163	1,237,879	22	21,710	-	-	43,365,343

(3) 枚方市奨学金の支給状況

(単位：人、円)

年 度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
区 分				
当該年度申請者数		109	142	154
当該年度認定者数		79	87	99
内 訳 (一)	公立在学生	38	58	62
	私立在学生	41	29	37
内 訳 (二)	1 年 生	73	71	85
	1 年生以外	6	16	14
給 付 総 人 員		217	225	243
内 訳 (一)	公立在学生	100	120	147
	私立在学生	117	105	96
内 訳 (二)	新規給付者	79	87	99
	継続給付者	138	138	144
給 付 総 額		14,460,000	14,674,000	15,426,000

[注] 給付額 公立(月額)4,500円、私立(月額)6,500円。

(4) 枚方市交通災害遺児奨学金

(単位：人、円)

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
給 付 人 員	6	5	5
給 付 総 額	360,000	300,000	300,000

[注] 給付額(月額)5,000円。

(5) 小学校学級数及び児童数

(単位：クラス、人)

学年 年度	1 年			2 年			3 年			4 年		
	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女
5	105	3,008		112	3,172		115	3,185		116	3,008	
		1,504	1,504		1,597	1,575		1,653	1,532		1,504	1,504
6	101	2,979		103	3,015		111	3,190		113	3,236	
		1,471	1,508		1,512	1,503		1,608	1,582		1,663	1,573
7	99	2,876		101	2,989		103	3,038		111	3,204	
		1,483	1,393		1,473	1,516		1,518	1,520		1,605	1,599

学年 年度	5 年			6 年			合 計		
	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女
5	106	3,339		106	3,390		949 (289)	19,102	
		1,704	1,635		1,711	1,679		9,673	9,429
6	112	3,234		107	3,344		945 (298)	18,998	
		1,687	1,547		1,712	1,632		9,653	9,345
7	113	3,244		112	3,245		945 (306)	18,596	
		1,665	1,579		1,690	1,555		9,434	9,162

〔注〕各年度5月1日現在、() は支援学級数で内数。

(6) 中学校学級数及び生徒数

(単位：クラス、人)

学年 年度	1 年			2 年			3 年			合 計		
	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女
5	87	3,208		91	3,322		93	3,429		366 (95)	9,959	
		1,599	1,609		1,656	1,666		1,745	1,684		5,000	4,959
6	82	3,119		88	3,226		91	3,332		357 (96)	9,677	
		1,574	1,545		1,613	1,613		1,662	1,670		4,849	4,828
7	82	3,004		84	3,134		88	3,229		357 (103)	9,367	
		1,530	1,474		1,579	1,555		1,612	1,617		4,721	4,646

〔注〕各年度5月1日現在、() は支援学級数で内数。

(7) 尿検査実施状況

(単位：人)

区 分	年度	実施人数	一 次 検 査			二 次 検 査			三 次 検 査		
			蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血
小 学 校	5	19,211	161	21	150	24	2	52	8	1	34
	6	18,821	175	18	110	16	3	42	9	—	26
	7	16,605	71	14	110	28	4	61	11	1	59
中 学 校	5	9,486	261	24	194	46	3	27	29	2	24
	6	9,189	271	20	179	40	1	35	28	—	24
	7	7,259	98	16	143	50	4	75	26	4	56
計	5	28,697	422	45	344	70	5	79	37	3	58
	6	28,010	446	38	289	56	4	77	37	—	50
	7	23,864	169	30	253	78	8	136	37	5	115

(8) 結核検診実施状況

(単位：人)

区 分	年度	問 診 調 査	二 次 検 査
小 学 校	5	19,224	31
	6	18,940	32
	7	18,558	44
中 学 校	5	9,916	5
	6	9,603	7
	7	9,250	22
計	5	29,140	36
	6	28,543	39
	7	27,808	66

(9) 心臓二次検診実施状況

(単位：人)

区 分	年度	在 籍 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	管 理 不 要 者 数
小 学 校	5	19,376	319	119	200
	6	18,998	312	175	137
	7	18,596	335	147	188
中 学 校	5	9,916	308	121	187
	6	9,677	299	143	156
	7	9,367	317	155	162
計	5	29,292	627	240	387
	6	28,675	611	318	293
	7	27,963	652	302	350

〔注〕在籍者数は各年度5月1日現在。

(10) モアレットボグラフィ法での脊柱検診実施状況

(単位：人)

区 分	年度	対 象 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	要精密検査者数
小 学 校	5	3,719	3,005	69	24
	6	3,465	2,986	26	13
	7	3,355	2,965	39	10
中 学 校	5	3,477	2,660	59	41
	6	3,427	2,560	53	22
	7	3,117	2,365	48	38
計	5	7,196	5,665	128	65
	6	6,892	5,546	79	35
	7	6,472	5,330	87	48

〔注〕対象者数には小学校5年生、中学校1年生と前年度の経過観察者、欠席者、他市転入者を含む。

学校教育部 所管施設の概要

(令和 8 年 4 月 1 日現在)

施 設 名	所 在 地	開 設 年 月	敷地面積 (㎡)	延 床 面 積 (㎡)	建 物 構 造
枚方市立教育文化センター	磯島北町 37-1	昭和 62 年 9 月	3,956.00	4,253.77	鉄筋コンクリート造 3 階建

施設名	区 分	所 在 地	開 設 年 月	延床面積 (㎡)	建 物 構 造
開 成	留守家庭児童会室	香里ヶ丘2丁目5	昭和41年 7月	235.50	鉄骨造平屋建
山 田	留守家庭児童会室	甲斐田町1-27	〃	117.02	軽量鉄骨造平屋建
香 里	留守家庭児童会室	香里ヶ丘10丁目5-2	昭和45年 4月	360.62	鉄骨造2階建
明 倫	留守家庭児童会室	中宮西之町10-6	〃	135.18	軽量鉄骨造平屋建
津 田	留守家庭児童会室	津田西町1丁目34-1	昭和46年 9月	437.95	鉄骨造平屋建
牧 野	留守家庭児童会室	上島東町4-18	〃	315.23	軽量鉄骨造、 鉄骨造平屋建
香 陽	留守家庭児童会室	香里ヶ丘11丁目36-1	昭和47年 6月	240.00	鉄骨造平屋建
小 倉	留守家庭児童会室	小倉町29-1	〃	327.18	〃
樟 葉	留守家庭児童会室	南楠葉2丁目40-6	〃	276.90	軽量鉄骨造、 鉄骨造平屋建
殿山第二	留守家庭児童会室	養父丘2丁目7-53	昭和49年 4月	612.32	〃
蹉 跎	留守家庭児童会室	北中振2丁目11-21	昭和49年 9月	240.00	鉄骨造平屋建
五 常	留守家庭児童会室	香里ヶ丘6丁目9	〃	122.68	軽量鉄骨造平屋建
交 北	留守家庭児童会室	交北2丁目30-5	昭和51年 1月	183.46	〃
菅 原	留守家庭児童会室	藤阪中町13-1	昭和51年 4月	184.76	鉄骨造平屋建
招 提	留守家庭児童会室	招提東町2丁目2-8	昭和52年 9月	119.83	軽量鉄骨造平屋建
枚方第二	留守家庭児童会室	田宮本町11-1	昭和53年 7月	88.89	〃
田口山	留守家庭児童会室	田口山3丁目10-1	〃	253.11	〃
中 宮	留守家庭児童会室	中宮山戸町22-3	〃	161.52	〃
枚 方	留守家庭児童会室	枚方上之町9-21	昭和54年 5月	279.29	鉄骨造平屋建
山之上	留守家庭児童会室	山之上1丁目32-1	〃	174.51	軽量鉄骨造平屋建
津田南	留守家庭児童会室	津田西町3丁目10-1	〃	419.94	軽量鉄骨造平屋建、 鉄骨造2階建
樟葉西	留守家庭児童会室	楠葉並木1丁目11-1	昭和55年 4月	182.37	軽量鉄骨造平屋建
樟葉南	留守家庭児童会室	楠葉美咲1丁目25-1	〃	135.45	〃
菅原東	留守家庭児童会室	藤阪東町3丁目10-1	昭和55年 4月	317.51	軽量鉄骨造、 鉄骨造平屋建
蹉跎東	留守家庭児童会室	翠香園町30-1	昭和56年 4月	193.29	軽量鉄骨造平屋建
磯 島	留守家庭児童会室	磯島北町3-1	〃	364.69	軽量鉄骨造、 鉄骨造平屋建
氷 室	留守家庭児童会室	尊延寺3丁目1-38	〃	143.32	軽量鉄骨造平屋建
藤 阪	留守家庭児童会室	藤阪南町1丁目40-1	昭和56年 6月	121.27	〃
平 野	留守家庭児童会室	招提中町1丁目53-1	〃	139.67	〃
桜 丘	留守家庭児童会室	村野本町30-1	昭和57年 4月	386.96	軽量鉄骨造、 鉄骨造平屋建
殿山第一	留守家庭児童会室	上野1丁目6-5	〃	330.52	〃
春 日	留守家庭児童会室	高田2丁目15-10	〃	205.81	軽量鉄骨造平屋建
西牧野	留守家庭児童会室	西牧野2丁目1-1	〃	104.95	鉄骨造平屋建
山田東	留守家庭児童会室	田口3丁目16-1	〃	185.25	軽量鉄骨造平屋建
蹉跎西	留守家庭児童会室	出口6丁目20-1	〃	208.46	鉄骨造平屋建
長 尾	留守家庭児童会室	長尾北町3丁目3-2	〃	144.26	軽量鉄骨造平屋建

施設名	区 分	所 在 地	開 設 年 月	延床面積 (㎡)	建 物 構 造
川 越	留守家庭児童会室	釈尊寺町30-1	昭和58年 4月	168.39	〃
桜丘北	留守家庭児童会室	星丘4丁目31-1	〃	280.07	軽量鉄骨造、 鉄骨造平屋建
樟葉北	留守家庭児童会室	楠葉野田3丁目13-1	〃	109.89	鉄骨造平屋建
船 橋	留守家庭児童会室	東山1丁目68	〃	240.00	〃
東香里	留守家庭児童会室	東香里南町44-1	〃	89.30	〃
伊加賀	留守家庭児童会室	伊加賀西町53-1	〃	260.13	〃
西長尾	留守家庭児童会室	長尾西町2丁目45-1	昭和59年 7月	159.58	軽量鉄骨造平屋建
禁 野	留守家庭児童会室	中宮北町4-1	令和 4年 4月	122.67	〃